

参考資料

【益子の陶器市について】

益子の陶器市は1966年から始まり、現在は毎年春と秋の年2回開催されている益子の一大イベントです。販売店約50店舗の他、約500ものテントが立ち並び、伝統的な益子焼からカップや皿などの日用品、美術品のほか、地元の特産品や農作物等が販売され、多くの観光客で賑わいを見せます。2019年の益子陶器市には15日間で延べ約64万人の観光客が訪れました。

【益子WEB陶器市2020 春・秋】の実績について

【2020年春】

- 期間：2020年4月29日(火)～5月20日(水) 22日間
- 出品者：154事業者
- 購入件数：5,983件
- アクセス数：56万5,835回
- 受託販売金額：約4千736万5,876円



【2020年秋】

- 期間：2020年10月31日(火)～11月10日(水) 11日間
- 出品者：222事業者
- 購入件数：3,760件
- アクセス数：28万3,682回
- 受託販売金額：3千863万8,731円



【一般社団法人 ましこラボ】について

ましこラボは「日々の益子を暮らすように旅する」をコンセプトに2021年3月に設立する益子町DMOです。官・民で作り上げた「稼ぐ仕組み」であるWEB陶器市に加え、「ふるさと納税の自主サイト設立」や、「コト消費の研究・開発」等その他にも地域事業者の皆さまとも協力して新たな事業に挑戦してまいります。